

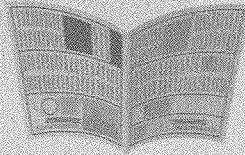
### 原発避難で解決すべき課題

出雲市中野町

西尾 茂 83歳

8日の本欄に「原発事故の広域避難に疑問」と題する松江市鹿島町の方の投稿がありました。島根原発2号機（松江市鹿島町片匂）に事故が起こった場合、松江市民は避難経路を考えると一番早く避難が必要であるのに、最後の避難民になると思われず。

ある橋脚の耐震の問題があります。多くの橋が破壊され通行不能になると、避難することは不可



能になります。

事故は地震や原発を標的にしたテロなどありませんが、特に避難経路上に

バスが必要といわれておりますが、原発再稼働と同時に、必要な貸し切りバスと数多くの運転手が常駐する必要があります。これらの多くの課題を解決しなければ、稼働はすべきではないと思っております。事故が起これば、さまざまな経済行為が破綻して島根県の人口は減り、貧乏県になることは目に見えています。住みよい島根、鳥取の原風景を、子どもたちに残してやるのがわれわれの責務ではないでしょうか。

原発から30キロ以内の46万人余りの避難には自家用車と数百台の貸し切り